

## 企画情報部

所内の調査研究に関する総合的な企画調整、関係機関に対する技術支援、保健衛生・環境保全に関する情報の収集・解析・管理・提供、普及啓発活動、栃木県 EMS に関する所内の運用管理及び保健衛生分野に関する調査研究を行った。

### 1 調査研究の企画調整

以下の会議において、当所が行う調査研究の評価、進行管理、技術交流等を実施した。

#### 1.1 内部評価委員会の運営

内部評価委員会を開催し、実施する調査研究について評価・助言を行なった。その開催状況は、表1のとおりである。

#### 1.2 外部評価の実施

所長が委嘱した学識経験者5名により構成される外部評価委員会を開催し、より客観的かつ公正な評価を行う必要があると考えられる調査研究について、評価・助言を受けた。実施状況は表2のとおりである。

#### 1.3 保健環境センター試験研究連絡会議の運営

当所で実施する行政依頼検査及び調査研究について、関係機関と協議・意見交換を行った。連絡会議の開催状況は表3のとおりである。

#### 1.4 栃木県試験研究機関連絡協議会における交流会の開催・参加

県試験研究機関（7機関）で共同研究や研究者交流会を実施している。交流会の実施状況は表4のとおりである。

表1 内部評価委員会開催状況

区分	開催日	内 容
第1回	1. 5. 9	令和元(2019)年度の新規調査研究課題(14題)及び継続調査研究課題(5題)について、事前評価及び中間評価を実施
	1. 5.10	
書面	1. 7. 5	令和元(2019)年度の新規調査研究課題(1題)について、事前評価を実施
第2回	1. 9.25	令和元(2019)年度外部評価対象課題を決定
第3回	2. 3. 2	令和元(2019)年度の調査研究課題について、中間評価(9題)及び事後評価(8題)を実施
	2. 3. 4	
書面	2. 3.13	令和元(2019)年度の調査研究課題について、中間評価(1題)及び事後評価(2題)を実施

表2 外部評価委員会実施状況

開催日	内 容
1.11.25	令和元(2019)年度に実施中の調査研究について(5題)

表3 試験研究連絡会議開催状況

区分	開催日	協 議 事 項
環境部会	2. 3. 4(書面開催)	行政検査実施計画、調査研究課題等

表4 試験研究機関連絡協議会 交流会実施状況

開催日	概 要	参加者数
2. 1.21	○第1回交流会 交流会(農業試験場いちご研究所 栃木市)	26名

○幹事会・第2回交流会		
2. 2. 5	幹事会	9名
〃	交流会 (保健環境センター 宇都宮市)	20名

\* 試験研究連絡協議会 構成機関 (令和2年3月31日現在)  
 林業センター、保健環境センター、産業技術センター、農業試験場、水産試験場、  
 県央家畜保健衛生所、畜産酪農研究センター

1.5 地方衛生研究所全国協議会及び全国環境研協議会との連絡調整

会員機関として、調査等に協力し、会員機関同士の情報交換を行った。

2 技術的支援

県及び市町職員に対し、保健衛生及び環境保全に関する研修や技術的支援を行った。

また、試験検査機関に対し精度管理事業を行った。

2.1 技術指導

初めて保健環境関係の試験検査を担当する職員に対し、検査技術の基礎的知識及び基本操作についての研修を行った。

令和元年度の実施状況は表5のとおりである。

表5 試験検査技術研修の実施状況

実施日	研修内容	受講者	担当部
31. 4. 17	動物医薬品分析 県北食肉衛生検査所	1名	食品薬品部
31. 4. 24 ~25	試験検査初任者研修(工場排水) 県南健康福祉センター他	2名	水環境部
1. 5. 16 ~17	試験検査初任者研修(食品理化学検査法) 県南健康福祉センター他	2名	食品薬品部
1. 5. 21 ~24	試験検査初任者研修(食中毒菌検査法) 県東健康福祉センター他	2名	微生物部
1. 8. 22	騒音・臭気測定講習会(県環境保全課と共催) 市町担当者	35名	大気環境部
1. 9. 25 ~27	試験検査研修(食中毒菌検査法:腸管出血性大腸菌) 県北健康福祉センター	2名	微生物部

表6 外部精度管理実施状況

実施区分	実施時期	検査項目	参加機関	担当部
細菌試験	1. 9. 3~ 9. 30	病原細菌	行政8機関	微生物部
水質試験	1. 9. 3~ 9. 27	銅含有量、 化学的酸素消費量	行政4機関、民間15機関	水環境部

表7 精度管理委員会の開催及び検討会実施状況

開催日	区分	実施区分	内容
1. 12. 11	委員会		令和元年度試験検査精度管理調査結果について 令和2年度試験検査精度管理調査計画(案)について
	検討会	細菌試験 (微生物部)	外部精度管理参加機関へ調査結果などの報告
水質試験 (水環境部)		外部精度管理参加機関へ調査結果などの報告	

## 2.2 保健衛生及び環境保全に関する講演会・研修会の実施

職員の資質向上を図るため、職場研修を開催した。

## 2.3 精度管理事業

保健衛生及び環境保全に関する試験検査機関の検査精度の信頼性を確保するため、行政機関(健康福祉センター等)や民間機関(環境計量証明機関)を対象に「外部精度管理」を実施した。

実施にあたっては、当所で予め調製した検体を参加機関に配布し、それぞれの機関で検査した結果を学識経験者、本庁関係課長等からなる「試験検査精度管理委員会」で評価した。実施状況は、表6、表7のとおりである。

なお、精度管理の詳細については「VI 資料」に記載した。

## 3 情報管理・提供

保健衛生・環境保全に関する行政需要に的確に対応するために必要な情報の収集・解析を行い、本庁関係課や健康福祉センター等に提供した。

また、県民向けの情報提供及び県民からの相談対応を行った。

### 3.1 栃木県感染症情報センター

厚生労働省が中心となり、全国で感染症発生動向調査事業が実施されている。各都道府県・政令指定市に感染症情報センターが置かれており、本県では当所が「栃木県感染症情報センター」として次の業務を行った。

- (1) 県域内のシステム管理者として、ユーザー管理・技術支援を行った。
- (2) 県全体の集計・解析・情報蓄積を行い、流行状況を把握し、関係機関に情報提供した。
- (3) 県全体の集計値を毎週ホームページ上で一般に公開した。
- (4) メーリングリスト「TIDC メール」を毎週発行し、主にホームページの更新情報を周知した。
- (5) 隔月開催される「栃木県結核・感染症サーベイランス委員会」に事務局として資料作成・提供した。
- (6) 国内外の感染症に関する情報を公的関係機関が発行するメーリングリストによって収集し、本庁関係課や健康福祉センターあて情報提供を行った。
- (7) 指定感染症である「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」についての関連情報及び発生状況をホームページ上で新たに公開し、関係者や県民への情報提供を行った。

### 3.2 脳卒中発症登録事業での情報管理

県において実施している「栃木県脳卒中発症登録事業」のうち、医療機関からの発症報告の登録管理を行った。令和元年度の登録件数は延べ4,653件であった。

### 3.3 栃木県保健環境センター年報の発行

当所の事業や調査研究を紹介する「栃木県保健環境センター年報第24号 平成30(2018)年度版」を発行し、県内外の関係機関等へ配布した。

### 3.4 ホームページの運営

当所の概要や各部の業務及び試験検査・調査研究の紹介並びに栃木県感染症情報センターからの最新情報を提供するため、「栃木県保健環境センターホームページ」(<http://www.thec.pref.tochigi.lg.jp>)を平成12年10月に開設し運営している。

令和元年度のトップページへのアクセス数は、延べ5,310件であった。

### 3.5 「保健環境センターだより」の発行

当所の業務に関連する情報をわかりやすく提供し、県民生活に役立てることを目的として、「保健環境センターだより」を3回(Vol122～Vol124)発行し、関係機関へのメールの配信及びセンターホームページに掲載した。また、近隣自治会に配布し、回覧を依頼した。

### 3.6 個別相談

保健・環境情報を提供し、関係機関からの個別相談に対応した。

### 3.7 所内情報システムの運用管理

当所における調査研究・試験検査を支援するため、所内専用ネットワークである所内LANシステムを運用した。

## 4 普及啓発

当所に対する理解の促進を図るとともに、保健衛生及び環境保全に関する知識の普及啓発を図るため、各種事業を

実施した。

#### 4.1 学習会等への講師派遣

保健衛生・環境保全に関する講話など所外の学習会等に職員を講師として派遣した。令和元年度の派遣状況は表8のとおりである。

#### 4.2 イベント開催・参加

センター公開デーを実施したほか、他団体主催イベントに参加した。実施状況は表9のとおりである。

#### 4.3 施設見学・実験講座

施設見学・視察・県民実験室利用による実験講座等の対応を行った。実施状況は表10のとおりである。

また、技術職インターンシップとして薬学系大学生2名を8月8日に、化学系大学生5名を8月27日に受け入れた。

#### 4.4 環境学習ライブラリー

所内に「環境学習ライブラリー」を開設し、関連図書・ビデオ等の貸出しを行っている。令和元(2019)年度の新規登録者は20人、貸出し図書等は延べ37点であった。

### 5 EMS への取組

平成12年度から平成21年度にかけISO14001の認証を取得し、その知識を基に平成22年度に当所独自のEMSを構築した。

平成23年度からは県庁全体の栃木県EMSに移行し、引き続き環境負荷低減への積極的な取組を行っている。

### 6 調査研究

#### 6.1 脳卒中発症登録者に対する生命予後の検討

脳卒中発症者の生存及び死亡状況の特性の変化を把握することを目的とし、脳卒中発症登録者(2011年)の生存確率の算出や、先行研究との比較検討を行った。

本調査研究は、栃木県健康増進課と連携しながら実施した。

なお、詳細は「IV 調査研究」に記載した。

表8 学習会等への講師派遣状況

実施日	名 称	主 催 者	参加者	派遣講師
1. 10. 31	総合的な学習の時間	栃木県立黒羽高等学校	155名	企画情報部 水環境部

表9 公開デー等の実施状況

イベント名	実施日	概 要 等
保健環境センター 公開デー2019	1. 7. 6	施設公開デーを開催した。 1 「クールなエコを探せ」 2 「身近な環境を調べてみよう」 3 「摂りすぎチェック！食べものの中身って？」 4 「病は気から？！ストレスチェックをしてみませんか？」 5 「来て！見て！やって！かがく実験」 6 「水辺の生き物を観察しよう」 7 「大声コンテスト」 8 「ミニ保健・環境学習ライブラリー/自由研究のたね」 9 「保健環境センター施設見学」 10 「奥日光清流清湖フォトコンテスト入賞作展示」 11 「とちまるくんクイズラリー」 来場者 298名 ((一財) 栃木県環境技術協会、栃木県地球温暖化防止活動推進センター、 (公財) 栃木県保健衛生事業団 食品環境検査所と共催)
ECO テック& ライフとちぎ2019  (於：マロニエプラザ)	1. 11. 30	1 ブースを担当した。(主催：栃木県地球温暖化防止活動推進センター) 1 「葉脈しおり」 2 「保健環境センターの業務紹介パネル展示」 来場者：イベント全体で2,210名

表10 保健環境センター施設見学等の実施状況

実施日	見 学 者	人 数	内 容	担当部
1. 6. 18	宇都宮市立御幸が原小学校4年生	67名	環境学習・施設見学	企画情報部 化学部 水環境部 大気環境部
1. 7. 30	とちぎ子どもの未来創造大学 夏休み科学講座 ～化学分析を体験しよう～	15名	実験体験	企画情報部 化学部 水環境部 大気環境部
1. 8. 6	とちぎ子どもの未来創造大学 夏休み科学講座 ～化学分析を体験しよう～	6名	実験体験	企画情報部